

役員（理事長）の公募による選任について

平成29年6月6日

公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター

公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センターでは、役員（理事長）の公募を行い、選考委員会での選考を経て、理事会において以下の者を選定しました。選任の経緯は別紙のとおりです。

現 任 者				選 任 者				経 過
氏 名	年 齢	当初就任年月日	前 職	氏 名	年 齢	就任年月日	前 職	
岡澤 和好	70	平成22年 7月1日	中間貯蔵・環境安全事業株式 会社取締役	関 庄一郎	61	平成29年 7月1日	環境省 顧問	応募総数 2名 ↓ 書類審査・面接（選考委員会） ↓（最適任者1名） 理事長選定（理事会）

（注）選任者は、当センターの理事であるため、評議員会における理事選任は不要。

(別紙)

理事長の選任の経緯

公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター

公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター（以下「センター」という。）は、このたび、理事長の交代に当たり、有能な人材を広く募るとともに役員を選任過程の透明性をさらに高めるため、理事長候補者の公募を行い、選考委員会での選考の後、定款及び関係法令の定める所要の手続きを経て理事長を選任した。

1. センターは、産業廃棄物を主体とする廃棄物処理の適正化を図り、廃棄物処理事業の健全な発展を推進することを目標として、各種調査研究、教育研修、電子マニフェストの運営等の活動を行うことによって、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与することを目的としている。
2. そのような組織にあつて、理事長職は、センターを代表し、その業務を掌理するポストとして、センターの経営に関する的確な理念や職務上の公正性、中立性及び高い倫理観を有するとともに、センターの事業運営に当たり、リーダーシップを発揮して国の機関や民間企業等との円滑な連絡・調整を図ることのできる十分な経験及び能力を有することが求められる。
3. 今回の理事長候補者の公募（平成 29 年 4 月 1 日から平成 29 年 4 月 24 日まで）に対して 2 名の応募があり、選考委員会において、一次選考（履歴書、自己アピール文書による書類選考）及び二次選考（面接）による選考を行った。
その結果、選考委員会は、理事長職に求められる資質及び知識・経験、廃棄物に関する知見、公益法人経営に対する認識等の総合評価により、理事長候補者として関 荘一郎氏を最も適任であるとした。
4. 平成 29 年 6 月 6 日に開催された理事会において、事務局から役員候補者の公募の結果に関する報告を聴取した後、理事会の決議によって、現理事である関 荘一郎氏が理事長に選定された。

(参考) 役員候補者の公募に係る選考委員の属性は次のとおり。

○ 元大学教授	1 名
○ 団体役員	1 名
○ 専門紙経営者	1 名
計	3 名